SONY

4-445-399-**02**(1)

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

DSC-W730

⚠警告 安全のために

→ *65 ～ 68ページも あわせてお読みください。*

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

➡
❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ 相談窓口に連絡する

裏表紙に**相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよびメモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、内蔵メモリーのデータやメモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(61ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(62ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。

本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

モニターおよびレンズについてのご注意

- モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

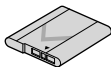
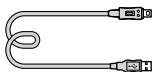
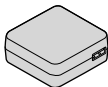
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次

その他 …… 55

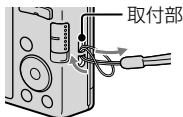
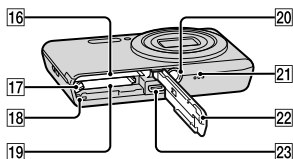
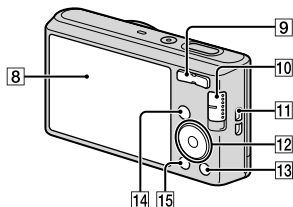
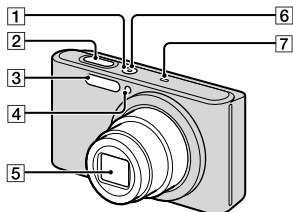
付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内の数字は個数です。

- リチャージャブルバッテリーパックNP-BN............................(1)
(NP-BN1同梱サイバーショットではご使用になれません。)

- 専用USBケーブル....................(1)

- ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D.......(1)

- リストストラップ....................(1)

- 取扱説明書(本書)....................(1)
- 保証書..(1)

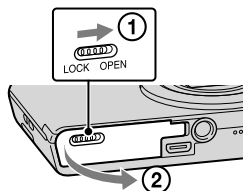
リストストラップを使う

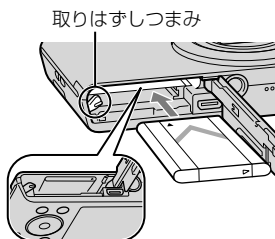
落下防止のため、ストラップを取り付け、手を通してご使用ください。

各部の名前を確認する

1 ON/OFF（電源）ボタン
2 シャッターボタン
3 フラッシュ
4 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AF補助光
5 レンズ
6 充電ランプ
7 マイク
8 液晶モニター
9 撮影時：W/T（ズーム）ボタン
再生時：（インデックス）ボタン/（再生ズーム）ボタン
10 モードスイッチ
11 リストストラップ取り付け部
12 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶
メニューオフ時：DISP（画面表示設定）/（セルフタイマー）/（スマイルシャッター）/（フラッシュ）
13 ?/（カメラ内ガイド/削除）ボタン
14 ▶（再生）ボタン
15 MENUボタン
16 バッテリー挿入口
17 取りはずしつまみ
18 アクセスランプ
19 メモリーカード挿入口
20 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

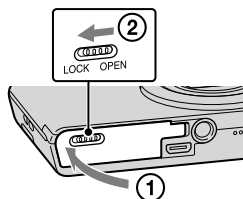
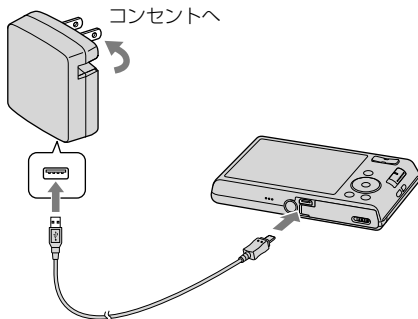
21 スピーカー
22 バッテリー /メモリーカードカバー
23 USB / A/V OUT端子

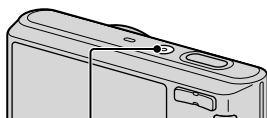
バッテリー充電と使用可能枚数・時間

初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。
充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

1 カバーを開ける。

2 バッテリーを入れる。

バッテリーをバッテリー挿入口の中にあるイラストに合わせて、取りはずしつまみがロックするまで押し込む。

3 カバーを閉じる。

- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

4 本機とACアダプター（付属)を専用USBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに取り付ける。

カメラの充電ランプがオレンジ色に点灯し､充電が始まる。

- 充電中は本機の電源を切った状態にしておいてください。
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は､一度バッテリーを取りはずし､再度装着してください。

充電ランプ

点灯：充電中

消灯：充電終了

点滅：充電エラー､または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

ご注意

- ACアダプターをコンセントにつないでもカメラの充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。
- バッテリーの端子が汚れていると正しく充電できない場合があります。バッテリーの端子を乾いた布または綿棒などで拭いてください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属の専用USBケーブル、ACアダプターをお使いください。

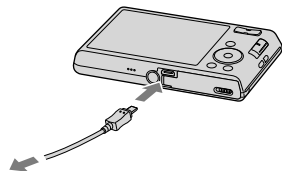
充電にかかる時間（満充電）

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約115分です。

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

パソコンに接続して充電する

専用USBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。

パソコンのUSB端子へ

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
  - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
  - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
  - 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約100分	約200枚
実動画撮影	約40分	—
連続動画撮影	約90分	—
静止画再生	約190分	約3800枚

ご注意

- 撮影枚数は満充電された状態での目安の枚数です。使用方法で枚数は減少する場合があります。
- 撮影可能枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 当社製の"メモリースティック PRO デュオ"(Mark2)(別売)を使用
  - 温度25℃の環境
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。(CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
  - [表示画質モード]：[標準]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  - 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 録画モード：720 FINE
  - 連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度シャッターボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。
  - 実動画撮影時間は撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源の入/切を繰り返したときの撮影時間の目安です。

バッテリーの残量を確認する

モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

多 → なし

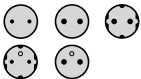
ご注意

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリー残量が表示されない場合は、コントロールボタンのDISP（画面表示設定）を押して、[入]または[詳細表示]を選んでください。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[強]のときに電源を入れたまま一定時間操作しないと、モニターが暗くなり、その後自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。

バッテリーについて

バッテリーの消費や使用可能時間については、58、59ページでも詳しく説明しています。

電力を供給する

専用USBケーブル（付属）では、ACアダプター（付属）と接続してコンセントから電力の供給ができます。専用USBケーブルを使ってパソコンと接続すると、パソコンに画像を取り込むときでもバッテリーの消費を心配せずに使用できます。
また、撮影に対応したACアダプター AC-UD10（別売）またはAC-UD11（別売）を使用すると、撮影時も電力を供給できます。

ご注意

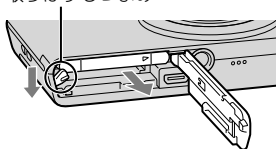
- バッテリーが本機に入っていないと給電ができません。
- 同梱のACアダプターおよびパソコンとの接続では、再生時のみ給電が可能です。撮影時や本機の設定変更時は、専用USBケーブルで接続していても給電されません。
- 再生中に専用USBケーブルを使ってパソコン接続すると、再生画面からUSB接続画面に変わります。▶（再生）ボタンを押すと再生画面に変わります。

海外でも使えます

ACアダプター（付属）は全世界で使用できます（AC100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz）。ただし、地域によってはコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

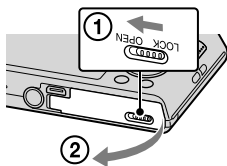
コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

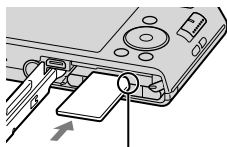
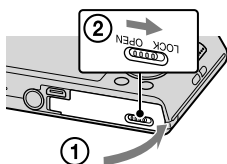
バッテリーを取り出す

取りはずしつまみを押し下げる。バッテリーが落下しないように注意する。

ご注意

- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

メモリーカード(別売)を入れる

1 カバーを開ける。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きにして、カチッというまで押し込みます。

3 カバーを閉じる。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、以下の通りです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

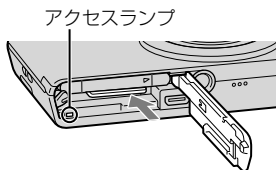
<table>
<tr><th>対応メモリーカード</th><th>静止画</th><th>動画</th><th>本書での表現</th></tr>
<tr><td>メモリースティック XC-HG デュオ</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="4">メモリースティック デュオ</td></tr>
<tr><td>メモリースティック PRO デュオ</td><td>○</td><td>○(Mark2のみ)</td></tr>
<tr><td>メモリースティック PRO-HG デュオ</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>メモリースティック デュオ</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>メモリースティック マイクロ(M2)</td><td>○</td><td>○(Mark2のみ)</td><td>メモリースティック マイクロ</td></tr>
<tr><td>SDメモリーカード</td><td>○</td><td>○(Class 4以上)</td><td rowspan="3">SDカード</td></tr>
<tr><td>SDHCメモリーカード</td><td>○</td><td>○(Class 4以上)</td></tr>
<tr><td>SDXCメモリーカード</td><td>○</td><td>○(Class 4以上)</td></tr>
<tr><td>microSD メモリーカード</td><td>○</td><td>○(Class 4以上)</td><td rowspan="3">microSD メモリーカード</td></tr>
<tr><td>microSDHC メモリーカード</td><td>○</td><td>○(Class 4以上)</td></tr>
<tr><td>microSDXC メモリーカード</td><td>○</td><td>○(Class 4以上)</td></tr>
</table>

- マルチメディアカードは使用できません。

記録できる枚数/時間については、55 ～ 56ページをご覧ください。

ご注意

- “メモリースティック XC-HG デュオ”、SDXCメモリーカードおよびmicroSDXC メモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容が全て失われます。(exFATは、“メモリースティック XC-HG デュオ”、SDXCメモリーカードおよびmicroSDXC メモリーカードで使用されているファイルシステムです。)
- “メモリースティック マイクロ”、microSD メモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

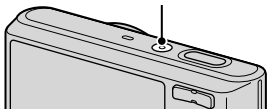
メモリーカードを入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約27MB）に画像が記録されます。
内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーする場合は、本機にメモリーカードを入れ、MENUボタン → (設定) → (メモリーカードツール) → ［コピー］を選びます。

日付と時刻を設定する

1 ON/OFF（電源）ボタンを押す。

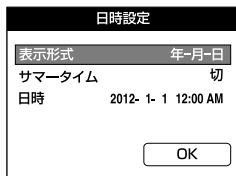
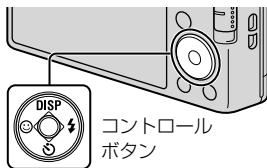
電源が入る。

- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがあります。

2 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、コントロールボタン中央の●を押す。

3 コントロールボタンの▲/▼で設定する項目を選び、中央の●を押す。

表示形式：日付表示順を選ぶ。

サマータイム：サマータイムの入・切を選ぶ。

日時：日付、時刻を設定する。

4 ▲/▼/◄/►で好みの設定を選んで数値を設定し、中央の●を押し、[OK]を押す。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなります。
- 日本では[サマータイム]は[切]にします。

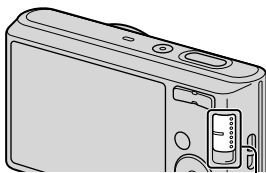
5 モニターの指示に従って操作する。

- [表示画質モード]を[高画質]にすると、バッテリーの消費が早くなります。

日付と時刻を合わせ直す

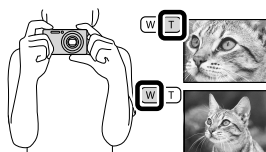
はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、(設定) → (時計設定) → [日時設定]を選び、日時設定画面を開いてください(54ページ)。

撮る（静止画）

1 モードスイッチを📷（静止画撮影）にする。

モードスイッチ

2 脇を締めて構え、構図を決める。

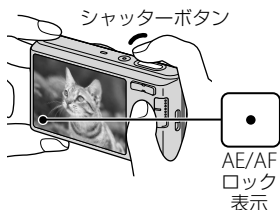
W/T（ズーム）ボタン

- W/T（ズーム）ボタンのTボタンを押すとズームし、Wボタンを押すと戻ります。大きくズームしたい場合は、37ページをご覧ください。
- フラッシュ、レンズに指がかからないようにしてください。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

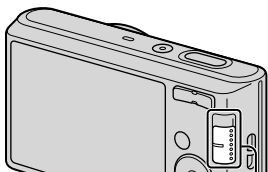
- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約5 cm、T側約150 cmです。
- 本機では状況に応じて、自動でマクロ撮影になります。

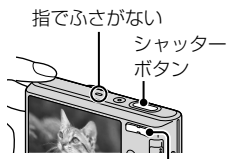
シャッターボタン

AE/AF ロック表示

4 シャッターボタンを深く押し込む。

- 撮影直後に、撮影した画像が表示されます。シャッターボタンを半押しすると、撮影に戻ります。

撮る(動画)

1　モードスイッチを (動画撮影)にする。

2　シャッターボタンを押して、撮影を開始する。

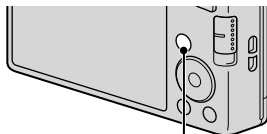
- マイクの穴をふさがないようにしてください。
- W/T（ズーム）ボタンのTボタンを押すとズームし、Wボタンを押すと戻ります。

3　もう一度シャッターボタンを押して、終了する。

ご注意

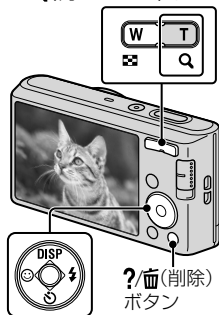
- 動画記録中にズームを操作すると、レンズの動作音が記録される場合があります。
- 連続撮影可能時間は約25℃で出荷時設定の場合、1回につき約29分です。撮影が終わってしまったら、もう一度シャッターボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります（4ページ）。

見る

1 ▶（再生）ボタンを押す。

- 他機で撮影したメモリーカードの画像を再生すると、管理ファイル登録画面が表示されます。

次の画像/前の画像を選ぶ

コントロールボタンの▶（次）/◀（前）で選ぶ。

- 動画を再生するには、コントロールボタン中央の●を押してください（39ページ）。
- 拡大するには、Q（再生ズーム）ボタンを押してください。

削除する

① ?/🗑（削除）ボタンを押す。
② コントロールボタンの▲で［この画像］を選び、中央の●を押す。

撮影に戻る

▶（再生）ボタンを押す。

- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻ります。

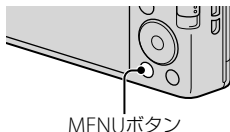
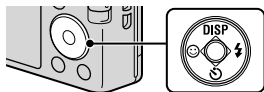
電源を切る

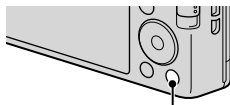
ON/OFF（電源）ボタンを押す。

本機で使いかたを調べる(カメラ内ガイド)

本機はカメラ内に使いかたの情報を収録しているため、「知りたいこと」、「したいこと」をその場で探すことができます。
また、確認した後は、そのモードを実際に使ってみることもできます。

1 MENUボタンを押す。

MENUボタン

2 コントロールボタンの▲/▼で説明を見たい項目を選ぶ。

3 ?/🗑(カメラ内ガイド)ボタンを押す。

手順2で選んだ項目の説明が表示される。

?/🗑(カメラ内ガイド)ボタン

4 ▲/▼で概要、操作方法、詳細と画面が切り替わる。

- MENUを表示していない状態で?/🗑(カメラ内ガイド)ボタンを押すと、キーワードやアイコンから検索することもできます。
- 終了するときは、?/🗑(カメラ内ガイド)ボタンを押します。

ご注意

- かんたんモード中は、?/🗑(カメラ内ガイド)ボタンは無効になります。

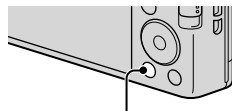
調べる

静止画の撮影モードを変える

モードスイッチの位置によって、選べる撮影モードは変わります。ここではモードスイッチが「静止画撮影」になっているときの説明をしています。

1 モードスイッチを (静止画撮影)にする。

2 MENUボタン → i (撮影モード) → 好みのモード

- 別の撮影モードにするには、もう一度撮影モードから好みのモードを選んでください。

i (おまかせオート撮影)	自動設定で静止画を撮影できる。
P (プログラムオート撮影)	露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定する。 メニューで多彩な機能を設定できる。
(ピクチャーエフェクト)	好みの効果を選んで独自の風合いで撮影できる。
SCN(シーンセレクション)	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影できる。

状況を自動判別して撮る

撮影モードをi(おまかせオート撮影)にすると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。

1 被写体にカメラを向ける。

認識されたシーンのマークとガイドがモニターに表示される。

上段：(人物)、(赤ちゃん)、(夜景&人物)、(夜景)、(逆光&人物)、(逆光)、(風景)、(マクロ)、(スポットライト)、(低照度)

下段：(三脚)、(動き)

シーン認識マークとガイド
(ガイドは上段のみ)

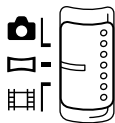
2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、シャッターボタンを深く押し込んで撮影する。

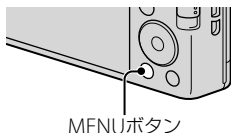
アドバンスモードについて

MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼/◄/►でiSCN(おまかせシーン認識) → iSCN+(アドバンス)を選びます。
[アドバンス]では、失敗しがちな(夜景)、(夜景&人物)、(逆光)、(逆光&人物)を認識したときと、(夜景)と(三脚)を同時に認識したときは、設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。

パノラマ画像を撮る

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像はソフトウェア「PlayMemories Home」でも再生できます。

1 モードスイッチを（スイングパノラマ）にする。

2 MENUボタン → （パノラマ撮影シーン） → 好みのモードを選び、コントロールボタン中央の●を押す。

MENUボタン

（スイングパノラマ）：パノラマ画像を撮影する。

（ピクチャーエフェクト）：独自の風合いが出る効果を追加したパノラマ画像を撮影する。

3 コントロールボタンで撮影方向を選ぶ。

▲ 下から上に移動/▼ 上から下に移動

▶ 左から右へ移動/◀ 右から左へ移動

4 明るさ、ピントを合わせたい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押しする。

撮影されない部分

5 シャッターボタンを半押しした状態で構図の端にカメラを向け、シャッターボタンを深く押し込む。

6 モニター上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ご注意

- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

周囲360度の範囲を撮影するには

本機は約360度まで撮影できるパノラマ撮影機能を搭載しています。

MENU → [パノラマ画像サイズ]で[360度]に設定し、スイングパノラマ撮影します。撮影した画像は本機上でスクロール再生できます。

- コントロールボタンの◀/▶で撮影方向を選べます。[360度]のスイングパノラマ撮影時は、上下方向を選べません。
- 被写体や撮り方によっては撮影画角が360度より狭くなる場合があります。

被写体にピントを合わせ続けて撮る（追尾フォーカス）

被写体が動いても、自動でピントを合わせ続けます。

1 モードスイッチを （静止画撮影）にする。

2 被写体に本機を向け、コントロールボタン中央の●を押す。

3 ターゲット枠を追尾フォーカスする被写体に合わせて、中央の●を押す。

- 追尾フォーカスを解除したいときは、もう一度中央の●を押します。

ターゲット枠

優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

顔検出中に追尾フォーカスを行うと、優先したい顔を自分で選んで登録できます。被写体がモニターから消えると、登録は解除されます。

① 顔検出中に、コントロールボタン中央の●を押す。

ターゲット枠が表示される。

② 顔検出していた顔にターゲット枠を合わせて、中央の●を押す。

選択された顔が優先顔として登録され、二重枠表示に変わる。

③ 登録を解除したい場合は、もう一度中央の●を押す。

笑顔を逃がさず撮る（スマイルシャッター）

1 コントロールボタンの☺（スマイルシャッター）を押す。

2 笑顔を待つ。

スマイルレベルがインジケーターの◀を超えると、自動で撮影される。もう一度 ☺（スマイルシャッター）ボタンを押すと、スマイルシャッターが終了する。

- スマイルシャッター中にシャッターボタンを押しても撮影できます。撮影後はスマイルシャッターに戻ります。

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。

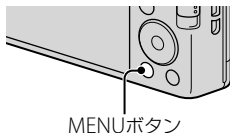
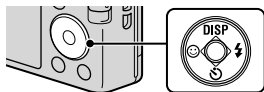
② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

さらに笑顔を検出しやすくするには、MENU→［スマイル検出感度］で検出する感度を変更できます。

用途に合わせて画像のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、高いほど画質が向上します。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して好みの画像サイズを選び、中央の●を押す。

- モードスイッチの位置によってメニュー画面での表示名は変わります。

  （静止画撮影）：［静止画サイズ］

  （パノラマ撮影）：［パノラマ画像サイズ］

  （動画撮影）：［動画サイズ］

静止画画像サイズ	用途例
4:3 16M（4608 × 3456）	A3ノビサイズまでの印刷
4:3 10M（3648 × 2736）	A3サイズまでの印刷
4:3 5M（2592 × 1944）	L/2L/A4サイズまでの印刷
4:3 4M *（2304 × 1728）	L/2L/A4サイズまでの印刷
4:3 VGA（640 × 480）	Eメールに添付
16:9 12M（4608 × 2592）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3サイズまでの印刷
16:9 2M（1920 × 1080）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞

* ［アドバンスフラッシュ］設定中のみ選べます。

パノラマ画像サイズ	説明
STD（標準）	標準サイズで撮影
WIDE（ワイド）	長いサイズで撮影
360（360度）	周囲360度のサイズで撮影

動画サイズ	平均ビットレート	説明
720 FINE 1280×720（ファイン）	9Mbps	ハイビジョンテレビ用に高画質で撮影
720 STD 1280×720（スタンダード）	6Mbps	ハイビジョンテレビ用に標準画質で撮影
VGA VGA	3Mbps	WEBアップロードに適したサイズで撮影

ご注意

- 16:9やスイングパノラマで撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

フラッシュモードを選ぶ

1 **コントロールボタンの⚡（フラッシュ）を押し、◀/▶を押して好みのモードを選び、中央の●を押す。**

⚡Adv.（アドバンスフラッシュ）（［おまかせオート撮影］時のみ）：暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。暗い場所では感度を上げて、より遠くまで明るく撮影する。

⚡AUTO（オート）：暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。

⚡（強制発光）：必ず発光する。

⚡SL（スローシンクロ）：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

⊛（発光禁止）：発光しない。

ご注意

- ［アドバンスフラッシュ］設定中は、選べる最大画像サイズは［4M］になります。
- ［おまかせオート撮影］時は、［アドバンスフラッシュ］、［オート］、［発光禁止］のみ選べます。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。
- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合はズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。

セルフタイマーを使う

1 コントロールボタンの（セルフタイマー）を押し、▲/▼を押して好みのモードを選び、中央の●を押す。

OFF（切）： セルフタイマーを使わない。

10（10秒）： 10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。解除するにはもう一度（セルフタイマー）ボタンを押す。

2（2秒）： 2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

（自分撮り1人）/（自分撮り2人）： カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。
設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影する。

撮影情報のモニター表示を変える

1 コントロールボタンのDISP（画面表示設定）を押し、▲/▼を押して好みのモードを選び、中央の●を押す。

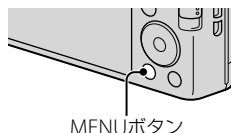
（切）： 画像のみを表示する。

（詳細表示）（再生時のみ）**：** 情報を表示する。撮影した画像のExifデータも表示される。

（入）： 情報を表示する。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 モードスイッチを （静止画撮影）にする。

2 MENUボタン → i （撮影モード） → SCN （シーンセレクション）を選び、コントロールボタン中央の●を押す。

シーンセレクションの項目一覧が表示される。

3 ▲/▼/◀/▶で好みのモードを選び、中央の●を押す。

- ほかのシーンにしたいときは、MENUボタンを押して、選び直します。

（美肌）：人物の肌をなめらかに補正する。

（ソフトスナップ）：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

（風景）：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

（夜景＆人物）：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせる。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

（高感度）：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

（料理）：料理を明るく美味しそうに撮影する。

（ペット）：ペットを最適な設定で撮影する。

（ビーチ）：太陽の光の下でも、明るく鮮やかに撮影する。

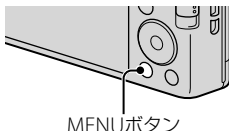
（スノー）：雪景色などの画面全体が白くなるような場所で、画面が沈みがちになるのを防ぐ。

（打ち上げ花火）：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

• モードによっては、フラッシュ発光できなくなります。

独自の風合いが出る効果を使う（ピクチャーエフェクト）

1 モードスイッチを （静止画撮影）にする。

2 MENUボタン → i （撮影モード） → （ピクチャーエフェクト）を選び、コントロールボタン中央の●を押す。

3 ◀/▶で好みのモードを選び、中央の●を押す。

• ほかの効果を使いたいときは、MENUボタンを押して、選び直します。

(トイカメラ)：トンネル効果・高コントラスト・色かぶりなど、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影する。色調はMENU → [色調] で変更する。

(ポップカラー)：色味を強調してポップでカラフルな画像を撮影する。

(パートカラー)：モノクロ画像の一部に指定する色を残すことで、印象に残る画像を撮影する。指定する色はMENU → [抽出色] で変更する。

(ソフトハイキー)：明るさを強調した柔らかく透明感のある画像を撮影する。

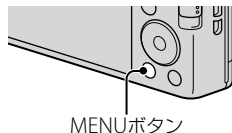
- [ピクチャーエフェクト]はパノラマ撮影、動画撮影でも使用できます。
  MENU → [パノラマ撮影シーン]または[動画撮影シーン] → [ピクチャーエフェクト] → 好みのモードを選び、コントロールボタン中央の●を押してください。
- パノラマ撮影では、[トイカメラ]は使用できません。

光学8倍以上にズームする

本機は光学8倍までズームします。
最大画像サイズ以外に設定した場合は、画像が劣化しない範囲で光学倍率を超えてデジタルズームします。
さらに倍率をあげるには、[デジタルズーム]の設定を変更します。

1 **モードスイッチを (静止画撮影)にする。**

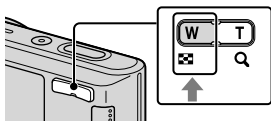
2 **画像サイズを[16M]、[16:9(12M)]以外に設定する(31ページ)。**

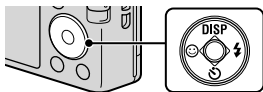
3 **MENUボタン → (設定) → (撮影設定) → [デジタルズーム] → 好みのモードを選び、コントロールボタン中央の●を押す。**

スマート：画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲で光学倍率を超えてズームする。画像サイズが[16M]、[16:9(12M)]のときは光学倍率までのズームになる。

プレシジョン：画像サイズの設定にかかわらず、総合ズーム倍率約32倍までズームする。ただし光学倍率を超えると、倍率に応じて画像は劣化する。

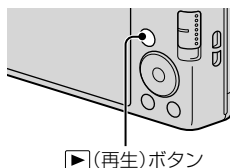
切：デジタルズームを使用しない。

素早く探す（一覧表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、⊞（インデックス）ボタンを押す。

- ⊞（インデックス）ボタンをもう一度押すと、更に細かい一覧表示画面になります。
- ［ビューモード］が［日付ビュー］のときは、更に細かい一覧表示中に⊞（インデックス）ボタンを押すと、カレンダー表示ができます。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。

- コントロールボタン中央の●を押すと、1枚再生に戻ります。

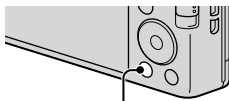
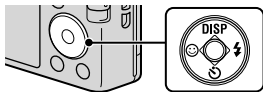
動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、コントロールボタンの◀/▶を押して再生したい動画を選ぶ。

2 中央の●を押す。

コントロールボタン	できること
●	再生/一時停止
▶	早送り
◀	早戻し
▼	音量調節画面表示 • ◀/▶で音量調節し、中央の●で表示が消える。

顔に美容効果をかける（ビューティーエフェクト）

ビューティーエフェクトは、静止画で撮影した人物の顔に様々な美容効果をかける機能です。

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼で（ビューティーエフェクト）を選び、中央の●を押す。

3 ◀/▶で美容効果をかける顔を選ぶ。

4 ◀/▶で好みの美容効果を選び、▲/▼で好みの設定を選ぶ。

（肌の色調整）：肌の色を調整する。

（なめらか肌）：肌のしみやしわを見えなくなるよう調整する。

（テカリ除去）：肌のてかりを抑える。

（デカ目）：人物の目を大きくする。

（歯のホワイトニング）：人物の歯を白く補正する。

- 同時に複数の顔に美容効果をかけることはできません。複数の顔に美容効果をかける場合は、一度美容効果をかけた画像を再度選び、別の顔を選んで美容効果をかけてください。

ご注意

- 画像によっては美容効果がうまく反映されない場合があります。
- 小さすぎる顔は美容効果をかけられません。

その他の再生機能を使う

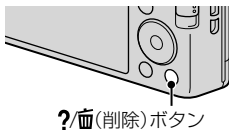
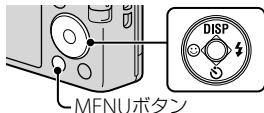
本機は、この他にも多くの再生機能を搭載しています。
テレビでの再生方法、撮影した画像のプリント方法、連続再生（スライドショー）などの詳細は、サイバーショットユーザーガイドやカメラ内ガイドで確認できます。

サイバーショットユーザーガイド（57ページ）

http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

カメラ内ガイド（24ページ）

削除する

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、?/🗑(削除)ボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼で好みのモードを選ぶ。

この日の画像全て/フォルダ内全て：
表示している日付・フォルダ内すべての画像を削除する。

画像選択：画像を何枚か選んで削除する。画像を選んで中央の●を押し、MENUを押して実行する。

この画像：見ている画像を削除する。

キャンセル：削除を中止する。

- [カメラ内ガイド]に関しては、24ページをご覧ください。

ご注意

- 内蔵メモリーの画像を削除するには、メモリーカードを取り出してから操作してください。

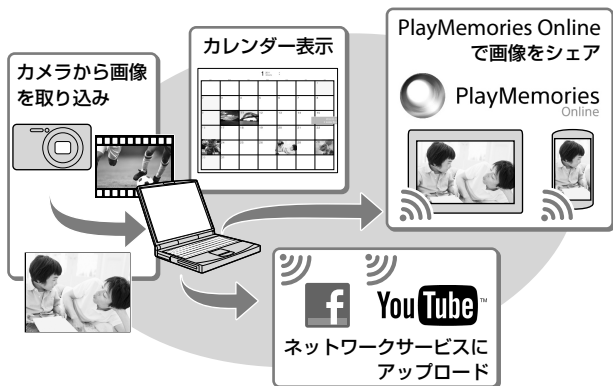
すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードが本機に入っている場合はメモリーカードのデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① MENUボタンを押す。
② コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●を押す。
③ ▲/▼/◀/▶で(メモリーカードツール)または(内蔵メモリーツール)を選び、[フォーマット] → 中央の●を押す。
④ [OK]を選び、中央の●を押す。

パソコンで楽しむ

ソフトウェア「PlayMemories Home」を使うと、撮影した静止画や動画をパソコンに取り込んで画像の活用ができます。

ソフトウェア「PlayMemories Home」でできること

「PlayMemories Home」をダウンロードする（Windows）

「PlayMemories Home」は、以下のURLよりダウンロードできます。

www.sony.net/pm

ご注意

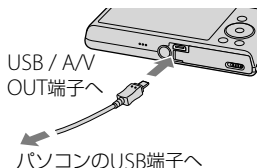
- 「PlayMemories Home」のインストールにはインターネット接続が必要です。
- 「PlayMemories Online」、各ネットワークサービスはインターネット接続が必要です。
- 「PlayMemories Home」はMacに対応していません。Mac用アプリケーションをご利用ください。詳しくは以下のURLをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

パソコンに「PlayMemories Home」をインストールする

1 パソコンのインターネットブラウザで以下のダウンロードサイトにアクセスして、[インストール] → [実行]をクリックする。

www.sony.net/pm

2 画面の指示に従ってインストールを進める。

- カメラをパソコンに接続する指示が表示されたら、専用USBケーブル(付属)で接続してください。

「PlayMemories Home ヘルプガイド」を見る

「PlayMemories Home」の操作について詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

1 デスクトップ上の[PlayMemories Home ヘルプガイド]アイコンをダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PlayMemories Home] → [PlayMemories Home ヘルプガイド]の順にクリックします。
- 「サイバーショットユーザーガイド」(57ページ)、PlayMemories Homeサポートページ(http://www.sony.co.jp/pmh-sj/)でも詳しい操作方法をご確認いただけます。

「PlayMemories Home」で画像をパソコンに取り込む

1　本機とパソコンを専用USBケーブル（付属）で接続する。

画像の取り込み画面が表示される。

- 通信中は本機のモニターに が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

2　保存先のドライブとフォルダ、取り込み方法を選んで、[取り込み開始]をクリックする。

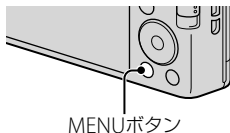
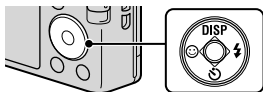
画像の取り込みが完了すると、「PlayMemories Home」のメイン画面が表示される。

ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体から専用USBケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイの切断アイコン（ ）をクリックし、[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックしてください。
- Windows XPでパソコンにインストールされているWindows Media PlayerがVer.10の場合は、カメラをパソコンに接続しても認識されない場合があります。このような場合はケーブルを抜いて、MENU → （設定） → （本体設定） → [USB接続設定] → [Mass Storage]にしてから、接続し直してください。

操作音の設定を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▼で (設定)を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で (本体設定)を選び、[操作音] → 好みのモード → 中央の●を押す。

シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

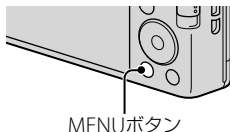
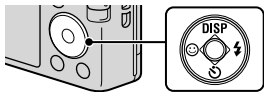
入：コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。

切：操作音/シャッター音は鳴らない。

画像に撮影日付を入れる

撮影した日付を画像に挿入するように設定できます。

1 MENUボタンを押す。

- 再生モードにしている場合は、撮影モードにしてから設定してください。

2 コントロールボタンの▼で（設定）を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で（撮影設定）を選び、[日付書き込み] → 好みのモード → 中央の●を押す。

入：日付を挿入する。

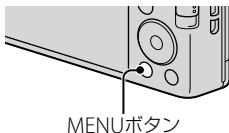
切：日付を挿入しない。

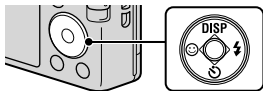
ご注意

- 画像に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。
本機のモニターには、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
お買い上げ時の状態に戻すには、MENU → (設定) → (本体設定) → [設定リセット]で戻せます。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で項目を選ぶ。

再生時は、中央の●を押して決定する。

3 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

撮影時のMENU

項目	説明
撮影モード	静止画の撮影モードの設定を変更する。 (iおまかせオート撮影/ P プログラムオート撮影/ ピクチャーエフェクト/ SCN シーンセレクション)
動画撮影シーン	動画の撮影モードの設定を変更する。 (オート/ピクチャーエフェクト)
パノラマ撮影シーン	スイングパノラマの撮影モードの設定を変更する。 (スイングパノラマ/ ピクチャーエフェクト)
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。 (美肌/ソフトスナップ/風景/ 夜景&人物/夜景/ISO 高感度/料理/ ペット/ビーチ/スノー / 打ち上げ花火)
ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。 (Toy トイカメラ/Pop ポップカラー / Part パートカラー /SftH key ソフトハイキー)
かんたんモード	必要最低限の機能を使って静止画を撮影する。 [静止画サイズ]:(大/小) [セルフタイマー]:(OFF 切/ON 10秒) [フラッシュ]:(AUTO オート/発光禁止) [スマイルシャッター]:(切/入)
色調	[トイカメラ]撮影時、色調を調整する。 (Toy Norm ノーマル/Toy Cool クール/Toy Warm ウォーム/ Toy G グリーン/Toy M マゼンタ)
抽出色	[パートカラー]撮影時、抽出したい色を設定する。 (Part R レッド/Part G グリーン/Part B ブルー / Part Y イエロー)

項目	説明
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 （切/低/中/高）
静止画サイズ/ パノラマ画像サイズ/ 動画サイズ	画像サイズを設定する。 （16M/10M/5M/4M/VGA/12M/2M） （標準/ワイド/360度） （1280×720（ファイン）/ 1280×720（スタンダード）/VGA） • 4M（4M）は[アドバンスフラッシュ]設定中のみ表示されます。
明るさ（EV補正）	露出を手動調整する。 （-2.0EV 〜 +2.0EV）
ISO	ISO感度を設定する。 （ISO AUTO/ISO 80 〜 ISO 3200）
色合い（ホワイトバランス）	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 （オート/太陽光/曇天/蛍光灯１/ 蛍光灯２/蛍光灯３/電球/ フラッシュ / ワンプッシュ / ワンプッシュ取込）
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 （マルチAF/中央重点AF/スポットAF）
測光モード	モニターのどの部分で光を測るか（測光）を設定する。 （マルチ/中央重点/スポット）
連写設定	1枚撮影、連写から撮影モードを設定する。 （1枚撮影/連写）
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 （オート/アドバンス）
スマイル検出感度	笑顔を検出する感度を設定する。 （大笑い/普通の笑顔/ほほ笑み）
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 （切/オート/こども優先/ おとな優先）

項目	説明
DRO	明るさとコントラストを最適化する。 （切/スタンダード/プラス）
目つぶり軽減	目つぶり軽減機能を設定する。 （オート/切）
動画手ブレ補正	動画撮影時、手ブレを補正する。 （スタンダード/アクティブ） • [動画手ブレ補正]の設定を変更すると、画角が変わります。
カメラ内ガイド	カメラの機能や使いかたを検索する。
(設定)	本機の設定を変更する。

再生時のMENU

項目	説明
EASY （かんたんモード）	文字を大きく表示して使いやすくする。
（ビューティーエフェクト）	画像の人物の顔を選んで加工し、別ファイルで保存する。 （肌の色調整/なめらか肌/テカリ除去/デカ目/歯のホワイトニング）
(加工)	画像を加工して別ファイルで保存する。 （トリミング（リサイズ）/ ピントくっきり補正）
(削除)	画像を削除する。 （フォルダ内全て/この日の画像全て/画像選択/この画像）
(スライドショー)	画像を連続再生する。 （連続再生/音楽付スライドショー）
(ビューモード)	ビューモードの切り換えを行う。 （日付ビュー /フォルダビュー（静止画）/ フォルダビュー（動画））
(プロテクト)	画像を誤って消さないように保護（プロテクト）する。 （この画像/画像選択）

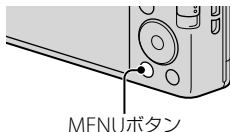
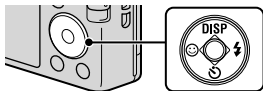
カメラの設定を変える

項目	説明
DPOF （プリント(DPOF)）	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 （DPOF この画像/DPOF 画像選択）
(回転)	静止画を回転する。
?(カメラ内ガイド)	カメラの機能や使いかたを検索する。
(設定)	撮影機能以外の、本機の設定を変更する。

(設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

1　MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

2　コントロールボタンの▲/▼で(設定)を選び、中央の●を押して決定する。

3　▲/▼/◀/▶で項目を選び、中央の●を押す。

4　MENUボタンを押して、設定画面を消す。

カテゴリー	項目	説明
撮影設定	AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。
	グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。
	表示画質モード	モニターに表示される画像の画質を調節する。
	デジタルズーム	光学ズーム以上のズームの方法を設定する。
	赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。
	目つぶり通知	目を閉じている画像を記録すると、メッセージを表示する。
	日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。
本体設定	操作音	本機の操作時に鳴る音を設定する。
	パネル明るさ	モニターの明るさを設定する。
	言語設定	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。
	画面カラー	モニターの背景色を設定する。
	デモモード	スマイルシャッターなどのデモンストレーションをする。
	設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
	機能ガイド	本機を操作したときに、機能の説明を表示するかどうかを設定する。
	ビデオ信号出力	接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定する。
	USB接続設定	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。
	USB給電	USB接続して給電するかどうか設定する。
	LUN設定	USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。
	BGMダウンロード	スライドショー用の音楽を変更する。
	BGMデータ消去	スライドショー用の音楽をすべて消去する。

カテゴリー	項目	説明
本体設定	Eye-Fi*	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。
	パワーセーブ	バッテリーセーブの強さを設定する。
メモリーカードツール	フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
	記録フォルダ作成	メモリーカードの中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	記録フォルダ削除	メモリーカードの中のフォルダを削除する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーする。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット(初期化)する。
時計設定	エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
	日時設定	時計、日付の設定をする。

* 対象のメモリーカードをカメラに挿入しているときのみ表示されます。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	約27MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
16M	4	265	530	1050	2150	4300	8600
10M	6	400	800	1600	3200	6400	12500
5M	8	580	1150	2300	4650	9300	18500
4M	14	950	1900	3800	7600	15000	30500
VGA	165	11000	22000	44000	88000	175000	350000
16:9(12M)	4	330	660	1300	2650	5300	10500
16:9(2M)	30	2050	4100	8200	16000	32500	65000

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が99999枚より多いときは、「>99999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	約27MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
1280×720（ファイン）	—	20分（15分）	45分（35分）	1時間35分（1時間10分）	3時間10分（2時間20分）	6時間20分（4時間40分）	12時間45分（9時間25分）
1280×720（スタンダード）	—	35分（25分）	1時間10分（50分）	2時間20分（1時間40分）	4時間40分（3時間25分）	9時間20分（6時間55分）	18時間45分（13時間45分）
VGA	1分（45秒）	1時間5分（50分）	2時間10分（1時間40分）	4時間25分（3時間20分）	8時間50分（6時間40分）	17時間45分（13時間25分）	35時間35分（26時間50分）

（　）内は最低記録時間です。

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です（商品仕様による制限）。
  [1280×720（ファイン）]の連続で撮影できる時間は約15分です（ファイルサイズ2GBによる制限）。

ご注意

- 動画の画像サイズが[1280×720（ファイン）]、[1280×720（スタンダード）]のときは内蔵メモリーに記録できません。
- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。
  動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
  また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

もっと詳しく知りたい（サイバーショットユーザーガイド）

「サイバーショットユーザーガイド」はオンラインで見るマニュアルです。
さらに詳しい使いかたを知りたいときにご覧ください。

1 サポートページにアクセスする。

http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

2 サイト内で本機の型名を探して「ユーザーガイド（HTML）」を開く。

- 型名は本機の底面をご覧ください。

検索エンジンで探す

お使いの検索エンジンで「型名」、「ユーザーガイド」を入力して検索することもできます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットユーザーガイド(HTML)」も参照し、本機を点検する。

モニターに「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットユーザーガイド」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする(53ページ)。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ 相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください(10ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(10ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- NP-BNまたはNP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[強]のときに、操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- NP-BNまたはNP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、本機の充電ランプが点滅することがまれにあります。その場合はカメラからバッテリーを取り出し、入れ直してください。

充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください（55ページ）。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください（42ページ）。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティックPRO デュオ" (Mark2)、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティック XC-HG デュオ"、"メモリースティック マイクロ" (Mark2)
  – SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード、microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード、microSDXC メモリーカード（Class 4以上）
- [デモモード]を[切]にしてください。

被写体の明るい部分から、白や紫などの線が出たり、モニター全体が赤みがかったような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。通常の静止画には記録されませんが、スイングパノラマや動画撮影では線やムラとなって記録されます。（明るい部分とは太陽や電灯など周囲との明るさの差が大きい箇所のことです。）

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するには「PlayMemories Home」をご使用ください。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

液晶モニターのお手入れ

- 手の脂、ハンドクリームなどが付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 液晶モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃ ～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

• バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

• バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機を湿度の低い涼しい場所で保管してください。
• 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（51ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
• 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

• バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
• 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

本機はNP-BN（同梱バッテリー）およびNP-BN1（別売バッテリー）を使用できます。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードはアメリカ、カナダ、日本、EUの一部の国で販売しています。（2012年12月現在）

• Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
• Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。
修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

つづき

⚠注意　火災　感電　下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

禁止

⚠注意

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。

Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.75 mm（1/2.3型）
CCD原色フィルター
総画素数：約1640万画素
有効画素数：約1610万画素
レンズ：カール ツァイス バリオ･テッサー 8倍ズームレンズ
f=4.5 mm ～ 36 mm
（25 mm ～ 200 mm（35 mmフィルム換算値））、F3.3（W）～ F6.3（T）
動画撮影時（16：9）：28 mm ～ 224 mm*
動画撮影時（4：3）：34 mm ～ 272 mm*
* [動画手ブレ補正]が[スタンダード]のとき
手ブレ補正：光学式
露出制御：自動、シーンセレクション
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ、ワンプッシュ
連写（最大画素数時）：
約1枚/秒（3枚まで）
記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF、Exif、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
動画記録方式：MPEG-4 AVC/H.264
記録メディア：内蔵メモリー 約27 MB、"メモリースティック デュオ"、"メモリースティック マイクロ"、SDカード、microSD メモリーカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.3 m～ 2.8 m（W）/約1.5 m～ 2.0 m（T）

[入出力端子]

USB / A/V OUT端子：
映像出力
音声出力
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0）

[モニター]

液晶モニター：6.7 cm（2.7型）、TFT駆動
総ドット数：230 400ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-BN、3.6 V
ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D、5 V
消費電力（撮影時）：約1.2 W
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法（CIPA準拠）：
93.1 mm×52.3 mm×22.5 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量（CIPA準拠）
（バッテリー NP-BN、"メモリースティック デュオ"を含む）：
約122 g
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応

ACアダプター AC-UB10/UB10B/UB10C/UB10D

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、
　　50 Hz/60 Hz、70 mA
定格出力：DC 5 V、0.5 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約50 mm×22 mm×54 mm
　　（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約48 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-BN

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：2.3 Wh（630 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
  Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK ™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"Memory Stick XC-HG Duo"、"メモリースティック XC-HG デュオ"、MEMORY STICK XC-HG DUO、"Memory Stick Micro"、"メモリースティック マイクロ"、MEMORY STICK MICRO、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Incの商標です。
- Facebook、"f" ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

LITHIUM ION N TYPE

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ･････････**0120-333-020**	フリーダイヤル ･････････**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ･････････**0466-31-2511**	携帯電話・PHS・一部のIP電話 ･････････**0466-31-2531**
	※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）**0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「401」+「#」（本機や付属品）
「404」+「#」（ソフトウェア「PlayMemories Home」）
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。